

# 1 平成18年度高砂市次世代育成支援行動計画の報告

## (1) 特徴的な成果

項 目	内 容
1. 子育て家庭への支援	児童手当が、所得制限の緩和と支給対象年齢が小学校6年生までに上げられ拡充された。
	いじめ対策啓発パンフレットを作成し、保育園、幼稚園の園児、小・中学校の児童生徒及びその保護者に配布した。
2. 子育て支援のコミュニティ整備	ファミリーサポートセンターの会員募集と会員希望者を対象とした研修会等、開設準備を行った。
	子育て支援センターを旧高砂保育園跡地に改修移転した。
	地域子育てネットワークなど、各団体の協力のもと、安全パトロールや見守りを実施するなど地域全体で取り組まれた。
	米田西小で「ほめて育てる地域実行委員会」を作り、「奉仕活動賞」「親切賞」「明朗賞」など地域ぐるみで子どもの健全育成に取り組まれた。
3. 就労と子育ての両立支援	休日保育など、多様化する市民ニーズに対応するために、みどり丘保育園の民間移管の移管先法人の選考を行った。
	園児の安全を守る観点から、さつき保育園で、アスベスト対策工事を行った。
4. 健全育成に向けた教育の充実	全幼稚園で2年保育を実施し、豊かな人間関係の育成を図った。
	児童の安全を守る観点から、阿弥陀小学校、北浜小学校、伊保南小学校体育館のアスベスト対策工事を行った。
5. 地域での生活環境の整備	牛谷東公園の整備を行った。
	荒井町臨海部に親水機能を有した「あらい浜風公園」がオープンした。
	歩行空間の整備を図るため、沖浜平津線、千鳥橋改良工事を行っている。
	保育園、児童学園、学童保育所、小・中学校に不審者対策用品を配布。また、梅井保育園などで不審者の侵入を想定した実技研修会を行った。
6. 安心して生み育てることのできる環境の整備	高砂児童学園で、療育相談「マミーサポート」事業を開始した。
	妊娠22週以降の妊婦の健診費用の一部について、一人一回限り上限15,000円の助成を始めた。